



令和6年9月2日
 都立品川特別支援学校長 田島 忍
 担当 養護教諭 宮澤 麻奈美

今年の夏も猛暑が続きましたが、9月も残暑が厳しい見込みです。新学期になり久しぶりの学校生活に疲れが出やすくなります。学校でも体調等注意深く見守っていきます。

2学期は校外学習や宿泊行事、校内発表会などたくさんの行事が控えています。生活習慣を整え、2学期を楽しみましょう。



【9月保健行事予定】

日	曜日	項目	時間	対象(小学部)	対象(中学部)
3	火	身体測定	9:30~		中1・2・3
4	水	健康相談	9:15~	該当者	該当者
5	木	宿泊前検診	9:30~	小6	
6	金	身体測定	9:00~	小3・4	
9	月	身体測定	9:00~	小2・5	
10	火	身体測定	9:00~	小1・6	
19	木	宿泊前検診	9:30~	小5	

【10月の保健行事予定】

日	曜日	項目	時間	対象(小学部)	対象(中学部)
2	水	健康相談	9:15~	該当者	該当者
3	木	宿泊前検診	9:30~		中3
24	木	宿泊前検診	9:30~		中2

夏休み中の受診について

夏休み中に主治医等の受診をした結果、「主治医意見書の内容が変わった」「検査の結果が出た」「薬の種類や量が変わった」「服薬を開始した」など変更がございましたら、保健室へお知らせください。



子どもの誤飲したものの別
緊急度

非常に多い誤飲事故。飲んだものによって緊急度が異なります。

<p>すぐに救急車!</p>	<p>* 灯油 * ベンジン * 除光液 * 農薬 * 殺虫剤 * ネズミ駆除剤</p>
<p>急いで受診</p>	<p>* ボタン電池 * 鋭利なもの * 磁石 * 洗剤 * タバコ * 薬 * コイン * おもちゃ など</p>
<p>様子を見て診療時間内に受診</p>	<p>* 少量のインク * クレヨン * 絵の具 * 化粧品 * 石けん など</p>

基本的には吐かせず、受診する際には誤飲したものと同じものを持参しましょう。
 ただし、呼吸が苦しそうだったり、顔色が悪い、けいれんなどの症状があれば、飲んだものに限らず救急要請してください。

◇◆学校感染症について◆◇

コロナ禍以降、昨年度より様々な感染症が流行しています。手足口病や溶連菌感染症などは全国的に注意報が発出されたりと、コロナ禍以前よりも流行が目立ち、流行時期も散発している状況です。

学校感染症に罹患すると出席停止となりますが、登校時には「学校感染症による欠席届（兼再登校届）」の提出が必要となります。昨今、流行が確認されている主な感染症をお知らせします。

第二種

季節性インフルエンザ

- 主な症状：突然現れる高熱・頭痛・全身のだるさ・筋肉や関節の痛み。
- 感染経路：飛沫感染と接触感染。
- 出席停止期間：発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで。

新型コロナウイルス

- 主な症状：呼吸器感染症のため、発熱・咽頭痛・咳などが中心となる。
- 感染経路：エアロゾル感染・飛沫感染・接触感染。
- 出席停止期間：発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで。

咽頭結膜熱（アデノウイルス感染症）

- 主な症状：2～14日間の潜伏期の後、目やに・なみだ目・まぶしがる・結膜の充血と浮腫・眼瞼の発赤と腫脹に加えて、咽頭の発赤、せき・鼻水などのかぜ症状、38～40℃の発熱などの全身症状。
- 感染経路：いくつかの種類のアデノウイルス感染。
- 出席停止期間：発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状がなくなって2日を経過するまで。

その他の感染症

溶連菌感染症

- 主な症状：高熱・扁桃の発赤・リンパ節の腫れ・舌が莓のように赤くザラザラとした状態になる。
- 出席停止期間：適切な抗菌薬治療が行われていれば、24時間以内に感染力がなくなる。治療開始24時間を過ぎて全身状態が良く、医師の判断により登校可能。

手足口病

- 主な症状：手のひら・足の裏や甲・手や足の指と指の間、くちびるや口の中に現れる、小さい水疱性の発疹が特徴。38℃前後の発熱を伴うことが1/2～1/3程度にみられる。
- 出席停止期間：熱が無く、全身状態が安定し、医師の判断により登校可能

ヘルパンギーナ

- 主な症状：発熱、のどの痛み、そして赤い小さな発疹が口の粘膜に現れ、やがて水疱となる。のどの痛みとそれによる食欲低下・脱水症に注意。
- 出席停止期間：熱が無く、全身状態が安定し、医師の判断により登校可能。

感染性胃腸炎※ロタウイルス・ノロウイルスなどが原因になることが多い。

- 主な症状：潜伏期間後、嘔吐と下痢が突然現れる。
- 感染経路：直接・間接の経口感染が主だが飛沫感染もあり得る。
- 出席停止期間：下痢・嘔吐などの主症状から回復した後、医師の判断により登校可能。